



No  
181

令和7年8月

# みんなの議会 たより

題字：鮫川小学校

みずの かいと  
6年 水野 海音さん



6  
月  
定  
例  
会

令和7年度一般会計・特別会計・公営  
企業会計補正予算など可決 2～3  
議案調査・議会報告会 …… 4～5  
一般質問に7議員登壇 … 6～13  
ふるさと鮫川への想い …… 14

# 900万円増額

6月  
定例会



## 報告 令和6年度 緑越明許費緑越計算書

| 事業名                | 金額           |
|--------------------|--------------|
| 不足額給付金給付事業         | 20,000,000円  |
| 低所得世帯緊急支援事業        | 10,409,000円  |
| 農業用水路修復事業          | 26,783,000円  |
| ふくしま森林再生事業         | 53,714,000円  |
| まめな暮らし応援商品券発行事業    | 29,740,000円  |
| 公立学校等複合施設基本設計事業    | 58,390,000円  |
| 公立学校等複合施設地形測量事業    | 8,000,000円   |
| 指導用図書購入事業          | 559,000円     |
| スクールバス修繕事業         | 1,100,000円   |
| 歴史民俗資料館火災報知設備更新事業  | 655,000円     |
| 青生野村民体育館火災報知設備改修事業 | 350,000円     |
| 公共土木施設災害復旧事業       | 211,570,000円 |
| 合計                 | 421,270,000円 |

## 報告 令和6年度 事故緑越し緑越計算書

| 事業名                                   | 金額         |
|---------------------------------------|------------|
| 公共土木施設災害復旧事業<br>(村道内ケ竜滝ノ下線地すべり災害復旧工事) | 9,064,000円 |
| 合計                                    | 9,064,000円 |

# 快適な生活環境を確保



## 6月定例会の あらまし

6月定例会が6月11日から13日までの3日間の会期で開催されました。  
第1日目に、一般質問を行い7名の議員が登壇し、強滝周辺の景観整備や業務委託等の検証、評価、公立学校等複合施設整備事業の必要性など様々な問題を取り上げ、村政を質しました。  
次に、報告3件の内容の説明があり、その後専決処分2件の内容説明、原案どおり承認されました。また、条例の一部改正4件、令和7年度補

正予算4件、過疎計画の変更1件や辺地計画の変更3件等の提案理由の説明がありました。  
第2日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会を開き、議案を審議しました。  
最終日、審議した条例、補正予算等を含む13件を原案どおり可決しました。また、請願1件を採択し、議員発議により意見書の提出1件を追加提出し、原案どおり可決しました。

## 主な条例改正

### 鮫川村分担金徴収条例の一部改正

倒木により公共施設に被害を及ぼすおそれがある場合や、県・村が管理する道路の通行に支障が生じる場合に、村が倒木被害を未然に阻止することを目的として危険木を伐採し、その危険木を所有する者に対し、対象経費の100分の15の分担金を求めるための改正。

### 鮫川村村営バスの設置及び管理に関する条例の一部改正

村営バス運行の委託先である福島交通株式会社において、運賃改定が行われた。これに伴い、本村においても福島交通株式会社の算定率を適用しているため、通勤定期額算定率を変更するため改正。

# 補正 予算 一般会計

# 村道唐露葉貫線 道路維持補修工事

## 補正予算の状況

| 会計別        | 補正額    | 補正後の予算額   | 議決状況 |
|------------|--------|-----------|------|
| 一般会計       | 2789万円 | 35億2189万円 | 全員賛成 |
| 特別会計       |        |           |      |
| 国保 事業勘定    | 489万円  | 5億738万円   | 全員賛成 |
| 学校給食センター   | 84万円   | 9957万円    | 全員賛成 |
| 合計         | 3362万円 | 41億2884万円 |      |
| 公営企業会計     | 補正額    | 補正後の予算額   | 議決状況 |
| 簡易水道 収益的収入 | 0      | 7495万円    | 全員賛成 |
| 事業 収益的支出   | 100万円  | 9620万円    |      |



## 補正予算の主な事業

|                                |                                                 |                                                                                       |        |
|--------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 歳入                             | 地方交付税(震災復興特別交付税)                                |                                                                                       | 1500万円 |
|                                | (公財)福島県スポーツ振興基金助成金<br>(トレーニングセンター空調設備工事に対する助成金) |                                                                                       | 100万円  |
|                                | 辺地対策事業債                                         | 村道菅ノ目浅川線舗装補修事業                                                                        | 420万円  |
|                                |                                                 | 村道姿平鹿角平線舗装補修事業                                                                        | 820万円  |
|                                | 過疎対策事業債                                         | 村道唐露葉貫線維持補修事業                                                                         | 900万円  |
| 歳出                             | 水防倉庫解体工事設計業務                                    |                                                                                       | △173万円 |
|                                | 水防倉庫解体撤去工事                                      |                                                                                       | △603万円 |
|                                | 村民保養施設駐車場復旧工事<br>(さざり荘駐車場一部の陥没<br>箇所に係る復旧工事)    |   |        |
|                                |                                                 |  |        |
|                                | 100万円                                           |                                                                                       |        |
|                                | さめがわ歯科診療所空調機修繕料                                 |                                                                                       | 13万円   |
|                                | 林業専用道路整備事業負担金(中沢地区)                             |                                                                                       | 1500万円 |
| 村道唐露葉貫線道路維持補修工事、U字溝敷設、一部舗装補修工事 |                                                 | 900万円                                                                                 |        |

## 第4回 臨時会

7月9日召集、工事請負契約の締結の議案が提出され、原案どおり可決しました。

- ◆ 契約目的 令和7年度  
村道姿平鹿角平線改良工事
- ◆ 契約方法 条件付一般競争入札
- ◆ 契約金額 57,034,670円  
(うち消費税額 5,184,970円)
- ◆ 契約の相手方 藤田建設工業株式会社  
代表取締役社長 内藤 勇雄



# 義務教育学校の 令和10年度開校は難しい

## 議案 調査

令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算を総務文教・産業厚生両常任委員会で調査しました。

### 総務文教 常任委員会

**問** 義務教育学校の開校は令和10年度の予定で大丈夫か

**答** 当初令和10年度開校を予定していたが、県所有の旧修明高校鮫川校の解体工事が予定より遅れているため、令和10年度は難しい

**問** 一般管理費・修繕料 132万円

**答** 庁舎エレベーターの修繕費用

**問** 諸費・修繕料 168万円

**答** 防犯灯の修繕費用（LED化に伴い27件中14件を修繕する）

### 産業厚生 常任委員会

**問** 村民保養施設駐車場復旧工事 100万円

**答** さざり荘駐車場の一部、陥没復旧工事費用

**問** 村道唐露・葉貫線道路維持補修工事 900万円

**答** 一部道路が破損しているための補修工事費用

**問** 林業費委託料・危険木伐採業務 58万円

**答** 国道349号線沿いに倒木の恐れがある松の木の伐採費用

## 研修会レポート

### 7/1 町村議会広報研修会

「戦略的広報と議会報づくりの型」と題し、自治体広報広聴研究所 代表理事 金井茂樹氏より講演がありました。

今後も、皆様に読まれる紙面・内容の充実に向けて議会広報紙の役割を果たしていきます。



## 宮城県大衡村議会来庁 6/17

総務民生常任委員会委員5名・事務局2名が、来庁されました。本村の移住定住事業の取り組みなど、活発な質疑・意見交換会が行われました。



# 議会報告会 開催

7月24日、午後6時30分より村公民館にて、議会報告会を開催致しました。

当日は、多くの村民が参加され、議会に対する大変貴重なご意見や村に対する要望等を頂きありがとうございました。今後も鮫川村議会をよろしくお願い致します。



## ご意見

議会の音声や動画の配信をして欲しい。

東京農業大学との交流を深めて、村を活性化して欲しい。

土日に子供が遊べる交流施設や交流場所が欲しい。

公立学校複合施設について、みりよく的な施設にして欲しい。

健康増進活動の在り方を考えて欲しい。

山林資源の利用を考えて欲しい。



# 議員 7人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



P 7

ほうじょう とし お  
**北條 利雄** 議員

- デジタル田園都市構想と義務教育学校との整合性
- 義務教育学校の基本構想、プロセス



P11

ほんごう ひろよし  
**本郷 弘義** 議員

- 行政区への財政支援



P 8

みどりかわ しげる  
**緑川 茂** 議員

- 強滝周辺の景観整備
- 義務教育学校の開校目標



P12

くぼ き こういち  
**窪木 浩一** 議員

- 義務教育学校等複合施設の必要性



P 9

もり たか ゆき  
**森 隆之** 議員

- 教育支援補助制度
- 県道71号線の進捗状況



P13

えんどう たか ひと  
**遠藤 貴人** 議員

- これからの村道
- マイナンバーカードの利用



P10

あお と よし ゆき  
**青戸 義之** 議員

- 業務委託等の検証、評価

一般質問は、議員の日常生活を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。



## 議事の進行

まえ た たけ ひさ  
**前田 武久** 議長



## 出席議員

もり た しげ お  
**森田 重男** 議員



北條 利雄 議員

問

## 総合戦略と義務教育学校 基本構想の整合性は

答

「さめがわ学」の取組が大きな柱

質問

総合戦略の「学校給食の充実」には学校給食プロジェクトの設立、食材がカットされた状態で、必要な食材が一式そろったミールキットの製造、必要な能力や態度の育成を目標とする、教育的働きかけのふるさとキャリア教育、地域への誇りと愛着を表すシビックプライドの醸成の4点の推進がある。これらが義務教育学校基本構想にどのような位置づけがなされ、整合性や関連づけがなされているか。

答弁(村長)

学校給食プロジェクトの設立は総合戦略に明記には至っていないが検討する。ミールキット製造は、有機栽培や特別栽培農産物を使用したオーガニック給食(化学合成農薬や化学肥料に頼らずに、自然にやさしい農法や食材)の提供、食材とレシピをセットにした開発を進める。シビックプライドの育成は、地域の力を発揮で

きるチャンスであり、地域の特産物拡大に取り組む。



食育の基幹施設  
「鮫川村学校給食センター」

答弁(教育長)

キャリア教育の推進は、子供たちがたくましく、自分らしく生きる力を身につけるため「さめがわ学」として生活科や総合学習の時間に実施。教育資源に直接触れながら学び、ふるさとを愛し、貢献し心を育むもの。地域に根差す教育として重要であり、継続して実施する。

問  
義務教育学校基本構想の政策プロセスは

答  
慎重かつ丁寧な開校を目指す

質問

義務教育学校基本構想における政策プロセス(過程や経過)が重要。問題意識を持つところから始まり、政策形成の全ての段階で必要なもの。情報を基に問題意識を具体化させ、対応方策を考えていくものである。住民や保護者への情報収集と発信、学校給食センターの

位置づけと対応、こどもセンターの併設、学校建設スケジュールのカリキュラム、義務教育学校の留意すべき点は何か。

答弁(教育長)

基本構想の情報収集と発信は住民説明会等で内容の説明や意見を聴取。広報紙等にプロジェクトの内容等や構想等を掲載し、理解を得る計画的な意見反映を検討する。給食は食育の教材として機能を有し学校教育の中で重要な役割を担っている。

意見

義務教育学校基本構想は、村の一般行政と教育行政の「100年の計」以上の一大イベント事業である。財政的にも、他の事務事業への影響や現役世代と次世代への影響が想定される。影響を少なくする最大限の工夫と努力が一層必要である。開校までには、クリアしなければならぬ想定外の重要な課題や問題が発生する可能性もある。それらを一一つ解決し、慎重かつ丁寧な開校を目指すべきである。

※「プロジェクト」  
複数の企業から企画提案を募る方式。

は、各種教育活動の目標と実態に合わせた編成が可能であり、計画、施行、実践の段階を踏んで充実した教育活動を準備する。義務教育学校の留意すべき点は、人間関係の固定化、教育環境のマンネリ化、

児童・生徒の成長への適時対応などが指摘されている。小学校及び中学校両方の免許を持つ教員の配置が課題である。

◀ 次のページは

一般質問

緑川

茂議員・森

隆之議員



## 問 強滝周辺の景観整備計画は

## 答 森林環境譲与税を活用し 環境整備を図る



県の「自然環境保全地域」として指定されている強滝

### 質問

県の「自然環境保全地域」に指定されている強滝は、本村の代表的な景勝地である。ここは四季折々に景観を楽しむことができ、特に秋の紅葉シーズンには多くのカメラマンや観光客が訪れる。また、川沿いに走る国道349号の幅員が狭かった区間が拡幅改良により、円滑な交通が確保された。今後さらに、来訪者が期待される事からも景観向上を図らなければならぬ。特に川の下流側の民地箇所は、地権

者の協力を得ながら景観整備をする必要があると思うが、今後の整備計画は。

### 答弁(村長)

強滝の自然環境保全地域は、原始自然性の高い植物の群生が確認されたこと、また滝の形状や柱状節理の特異な地形を有していることから、昭和50年に県から認定された。以降景観の保全と遊歩道の維持管理を行ってきた。国道が改良されたことにより、新緑や紅葉を楽しむ方々が増えるものと

考えている。まず森林経営計画を策定し、森林環境譲与税を活用して、環境整備ができる体制の構築を図っていく。また、県の環境保全整備計画に沿った形で民有地を含めた計画を策定し、所有者の協力を得ながら進めていく。

### 再質問

強滝を流れる鮫川は、県管理の河川であるが、河川内の草刈り等の景観整備をする場合、県からの支援は。

### 答弁(地域整備課長)

年3回実施しているクリーンアップ作業に対し、草刈り刃と燃料等若干であるが、支給されている。

### 再質問

自然環境保全地域の指定は、郡内で強滝と江竜田の滝2か所のみである。こういった誇れる観光資源であるので、交流人口の増加面からもPRを強化すべきと思うが。

### 答弁(村長)

環境づくり、景観整備は村を推進するため重要な施策と考える。人が集まれば産業も農業も成り立つ。そういった村づくりのため、今後ともしっかりと対応していく。

### 問 義務教育学校の開校目標の見直しは

実質的な完成時期を見極め変更する

### 質問

昨年9月の全員協議会において、義務教育学校基本構想について説明があった。また、先日は住民説明会も開催された。その中で令和10年度の開校を目指すという事で現在進められている。しかし、10年度の開校には、9年度内に工事が完成しなければならぬ。今後、敷地造成工事が行われるが、用地の問題や残土処理の問題など、様々な手続きと対応が生じてくるものと思われる。実質的

な工程を組み直した上で、開校目標を設定すべきと思うが。

### 答弁(教育長)

今年度新たに開設準備室を設けた。作業工程の見直しや精査を行いながら、基本設計を作成中である。一方、この間やむを得ず工期の見直しが必要な事案が出てきた。1つは、旧鮫川校の校舎撤去であり、県は当初の計画より約1年間延伸したこと。2つ目は、国道の払い下げに伴う事務手続について、県から1年6か月を要すると示されたことである。当初、10年度を目標としていた開校は、現状では令和11年度中に完成するかどうかとも困難な状況である。今後実質的な完成時期を見極めて、開校目標の変更を村民に周知して参りたい。



森  
隆之議員

問

## 物価高騰の中、教育支援事業の補助額の見直しは

答

金額の見直しは必要だが、  
現在検討中である

質問

昨年6月議会会で、教育支援制度補助額の見直しについて一般質問をしたところ、教育長の回答は、補助額の見直しよりも、鮫川村ならではのさらなる支援の在り方について検討すること。その後、新しい支援の在り方は、新設されたのか。また、これだけ物価高騰の状況で、補助額の見直しはしないのか。

答弁(教育長)

昨年6月に回答した新しい支援の在り方については、児童・生徒数の状況と財源を勘案し、現在も検討中である。一方、これまでの支援事業については、引き続き小学校の英語宿泊研修を支援するため、1人当たりの経費の増額改定に対応して予算を増額するとともに、本年度からは、英語能力検定の無償化を新たに小学生程度が受験する検



物価高騰の中、高校生への通学助成金の増額が望まれる

定まで拡大した。また、

中学3年生を対象としたサマースクールを夏休み8日間から10日間に延長するとともに、冬休み2日間を追加した。現在の物価上昇に対応するための補助制度における金額の見直しについては、引き続き検討をしていく。

再質問

今のところ新たな取組について、まだ検討中だということ。高校へ通学している生徒への通学助成金、1万円の助成だが物価高騰の状況を鑑みて、多少なりとも増額できないか。

答弁(教育長)

就学支援の補助だが、高校生の数が減ってくれば新たな補助金の上乗せというのは可能になるだろうと思う。現在の生徒数での増額は厳しいが社会情勢を見れば、かさ上げが必要だとは思つ。

問 県道71号線(勿来・浅川線)工事の進捗状況は

答 今年度から用地買収を開始、県に要望活動を継続する

質問

県道71号線、勿来・浅川線の大房から中内区間、道路幅員工事の進捗状況と今後の工期予定、村としての県への対応は。

答弁(村長)

まずは柵久保地内の狭くなる道路のカーブから用地買収をして、順次進めるという方向性。村としても予算の確保等に一生懸命、交渉したい。

再質問

今年度から用地買収が始まり、予算確保ができたと思う。村としても県に対して半年に1回、1年に最低2回くらいは工事の進捗状況、また次年度予算確保の要望をして欲しいが。

答弁(村長)

村では県に対して道路改良の要望活動を長年にわたり行っている。こうした活動が実を結び、今年度、柵久保地内から遠ヶ竜地内の2改良区間約950メートルの用地買収を進め、予算を確保し改良工事を進めると県から報告があった。今後もあらゆる機会を捉え、未改良区間の早期完了に向けた要望活動を実施する。



自動車が、すれ違いできないほど狭い県道71号線

問

## 業務委託、指定管理業務の 費用対効果の検証、評価は

答

持続可能な施策を展開する

青戸 義之 議員



質問

施策を遂行するため、多くの業務委託や指定管理業務の予算が計上されている。費用に対し、どのような成果が得られたのか、また検証、評価をされているのか。

答弁(村長)

行政課題の複雑化、高度化が進む中、限られた職員数で多様なニーズに応えるため、民間事業者の専門的知見を活用することが不可欠である。

ように施策に反映していくのか。



村の指定管理を受けている「手・まめ・館」

欠である。業務委託や指定管理者制度の導入により、行政運営の効率化とサービス維持の向上を図っている。これにより、職員よりもコストを抑えつつ、質の高いサービスを提供できていると考えている。業務委託の筋力づくり教室

は、スポーツクラブを運営するルネサンスから継続的にフォロワーアップを受け、運動サポートが筋力づくりやストレッチ、脳の活性化を促すシナプソロジーなど、プログラムを実施し、質の高い介護予防事業を展開している。また、住民と村外の人が、鮫川の風景や魅力を画像で共有、交流できるウェブサイトを、さめがわむらぶは関係人口の創出拡大に繋げている。手・まめ・館は、運営協議会を指定管理者として指定し、運営を委ね、地元農家との連携により、地元農産物の魅力を最大限に引き出し加工品の販売等、地域の活性化と関係人口の拡大に貢献している。事業の検証、評価については、契約内容の精査、事業目的の明確化、成果の徹底を行うとともに、行政評価として職員自らが行う内部評価を行っている。

平成31年に策定した鮫川村指定管理者制度ガイドラインに基づき、自己評価と事業報告を通じたモニタリングを行い、さらに、長期計画に基づき、有識者、村民など、外部評価を行い、客観的かつ専門的な知見から、事業の妥当性や効果を継続的に評価している。こうした取り組みは、本村の最大、最上位計画である。デジタル田園都市国家構想総合戦略を確実に推進していくために必要と考える。今後も制度を最大限に活用し、その実施状況を丁寧に検証、評価し、知見を事業改善に反映することで、持続可能な地域に根差した施策展開を確実に進める。

意見

検証及び評価の結果により、今後、次に行うことを決める際には、その評価、検証を十分に役立てて、定期的に見直しや改善を行い、より適した投資判断を行うことが大変必要であり、それが税金を有効に使う道かと思われる。



本郷弘義議員

問

行政区への財政支援は

答

物価の動向や  
運営実態を踏まえ、検討を進める

質問

行政区の運営は、村からの補助金、交付金、各世帯から徴収する区費で賄われているが、近年の人口、世帯数の減少により、行政区の財政が年々厳しくなっている。区民には区費の増額を求めるが、高齢者や低所得者、年金生活者に同額の負担を求めることは困難である。しかし、今までの継続事業や区民行事を縮小させることは、区民の親睦が薄れ、防犯や孤立化の抑制にも影響を与えかねない。さらに、行政区では将来への備え、蓄えも必要だ。近年の諸物価や光熱費等の上昇にも関わらず、村からの助成金は10年以上変わらない。以前、行政区には税金の完納報償金として、貴重な財源があったが現在はない。行政区のコミュニケーションを保つためにも、助成金等の見直しは。

答弁(村長)

現在、行政区運営の地方振興費補助金は、均等割額25万円、世帯割額9000円、災害対策用公衆電話維持費3万円の合算額となっている。行政区から増額の要望がなかったこともあり、見直しはなかった。近年の世帯数の減少、物価高騰の及ぼす影響により、行政区の運営に支障が出かねない状況であることは認識している。特に、高齢の方などにとつて、福祉は重い負担となることも承知しており、十分に反映する必要があると考えている。村としては、行政区における地域コミュニティの維持、活性化は重要な課題であるとの認識の下、補助金制度の見直しについては、物価の動向や行政区の運営実態、さらには財政支援の整合性や公平性を踏まえ、区長と丁寧に見直しを進める。

意見

各行政区の運営は、住民相互の連絡や環境の整備、集会施設の維持管理など、良好な地域社会に資する地域的な協同活動を行うことが目的である。区民が団結し、共助の精神で行政サービスが及ばない地域づくりの一端を担っている。活動も多岐にわたり、防災防火活動、行事などの文化活動、慶弔活動、社会福祉活動、行政機関への要望等、暮らし全般から行政への橋渡しまで、幅広いものとなっている。区の活動が活発に行われることは、高齢者世帯、単身世帯の孤立防止につながり、密な情報の共有ともなる。それらは、防犯防災としても機能し、万が一の非常事態時に、個人では限界がある初動対応の支えとなる。その重要性を踏まえ、行政区に支援すべき。



西山区民体育祭



維持管理作業



問

# 公立学校等複合施設 整備事業の必要性は

答

## 耐震基準・構造上も建て替えは必要

質問

公立学校等複合施設整備事業は、子ども達の教育にとつて重要なものとは感じるが、村の人口減少・少子高齢化の進行を鑑み、これまでにない大規模で莫大な費用を要する本事業に不安を感じる。それらを払拭すべく以下の点を問う。

①事業に係る総費用と内訳

答弁(教育長)

●計画に要する費用  
約3億2千万円

●うち県補助1億6千万円

●建設に要する費用  
約46億円

●補助金の有無

国庫負担金16億5千万円

県補助金1億4千万円

●村が負担する費用  
約29億円

●本事業の総額

総費用は約49億2千万円

※土地造成・切土等は総費用に含まず。

●進行過程で費用が膨らむ可能性はあるか

事業進行において、物価変動や資材費、人件費高騰等など、試算より増加する可能性は否定できない。

②どのような返済計画か、また安定的に返済可能なのか

答弁(村長)

総事業費のうち約29億円を過疎債で賄う予定、返済は最大25年間を想定、年間返済額は多い年で約2億9千万円、平均で約1億4千万円の見込み。

※地方交付税として7割が返ってくるため村の実質負担額は年間4千2百万円となる見込み。

③本事業に投資した事により、他事業や村民生活に支障はないか

答弁(村長)

事業進捗や財政状況を常に注視し、事業の設計、見直し、工事内容を精査し、村の財政運営に過度な負担が掛からない様に努める。

④本事業でどのような学習効果や経済効果が見込めるか、メリットと将来性を問う

答弁(教育長)

教育活動を目指実態に合わせ、独自の教育課程化を編成、地域に根差した教育が可能。教科担任制の導入や合同授業の実施、異学年交流活動、地域保護者との連携強化が見込める。

将来的に少子化が常態化・複式学級化も予想されるが、9学年の児童生徒が在籍する為、より多い児童生徒による交流学習が期待される。

再質問

現在の小・中学校の校舎は耐震改修したが、それらでは、校舎として利用できないのか。

答弁(教育長)

大規模改修・耐震改修済だが、いずれは耐震基準・構造上も建て替えは必要になる。

再質問

近い将来、生徒数減少で他校編入や統合も進み、学校としての役割を果たせなくなる可能性もある。生徒減少からの廃校のリスクをも鑑みた上での計画なのか。

答弁(村長)

子供が減らない様に魅力のある学校づくりをし、生徒数が足りないなら他の町村からでも生徒を集めて教育環境づくりを図る。

再質問

完成後は維持管理費等も発生し、建設するときは財源確保できても、年数の経過や自然災害などで生じる、緊急な修繕費等についても問題なく財源確保することは可能か。

答弁(村長)

建物が古いほど、維持管理費が掛かる。全国的にも人口減少の時代なので、減るからこそ学校を建設して生徒を増やす。

再質問

本事業の予算を建物ばかりではなく、今村にいる子ども達に有効に使ってはどうか。  
苦勞の多い現役子育て世代の負担を軽減する、そのような予算の使い方もあると思うが。

答弁(村長)

学力向上・人間性を養うための義務教育学校なので、建設に注力して子ども達の教育に取り組んでいく。

意見

本事業を不安視する村民の意見にも耳を傾けて、それらを解決し、村民が納得できる様な事業になる事を望む。



住民説明会の様子



遠藤 貴人 議員

問

道路整備の優先順位を見直すべき

答

地域の実情に応じて、検討する

質問

今後、予算の確保と効率的な活用が必要であることから、道路整備の優先順位を見直し、不要になる可能性のある道路整備を抑制するなどの検討が必要であると考えるが、以下に質問する。

- ① 村道、林道の本数及び総延長距離は。
- ② 橋梁の本数は。
- ③ 過疎化による利用者の減少に伴い、道路整備を抑制する検討が必要であると考えるが。
- ④ そのための計画はあるか。

答弁(村長)

① 村道、林道の路線数は185路線。総延長234.8キロメートル。  
② 橋梁の数は、村道橋67橋、林道橋5橋。  
③ 厳しい財政状況の下、地域の実情や利用状況に応じて、廃道、廃橋も選択肢の一つとして検討していかなければならぬ。  
④ 現時点での計画は無い。

再質問

自治体の人口が地方交付税措置の指標となつていことから、今後さらに交付税が減つ



今後の道路整備は、予算措置に熟慮が求められる

てくる。不要な道路の整備を抑制するなど、予算の有効活用を検討する必要があると考えるが。

答弁(村長)

人が住んでいる限り、それは必要な道路。人が少ないから廃道など出来ない。

再質問

今すぐということではない。今後、全て空き家になつてしまった状況が発生したとき、廃道といったことも視野に入れて考えなければとの思い。熟慮の上での予算措置を望む。

答弁(村長)

地域によつて諸事情あるので、優先順位をつけて検討していく。

質問

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで住民票や印鑑証明書などが取得できる、コンビニ交付サービスは2016年から開始された。しかし、本村はその後もサービスに加入することなく、従来どおりの窓口交付で需要に対応しているが、以下に質問する。

再質問

近隣町村でサービスに加入しない自治体はどこか。

答弁(村づくり推進室長)

矢祭町、古殿町、平田村が導入してない。

再質問

サービス未加入による不便性を解消するため、村独自のサービスとして取り組んでいることはあるか。

答弁(住民福祉課長)

事前に連絡をいただければ、業務時間外に証明書等の発行をしている。

問

近隣町村でコンビニ交付サービスに加入してない自治体は

答

矢祭町、古殿町、平田村が導入してない

◀ 次のページは

ふるさとへの想い シリーズ(55)です

# ふるさと鮫川への想い シリーズ⑤⑤

## 鮫川村に 生まれて感謝

あれは、小学3年生の初夏の頃の出来事です。下校途中に道の上から強滝の流れを見た時に、水のない石の上を黒い塊が下流から上流へ動いていく様を目

### ◆プロフィール

- ・昭和16年生まれ
- ・鮫川小学校卒
- ・鮫川中学校卒
- ・現在塙町で革製品の製造販売



すずき みよし 塙町在住  
**鈴木 末良**さん (西山字馬場出身)

の当たりにしました。日本ウナギの稚魚だと思い、そばで見ようと急いで川岸へ下りましたが、一瞬で跡形もなくなっていました。今でも脳裏に焼き付いています。環境の変化によって今日では再び見る事ができなくなっていました。ことがとても残念です。

小中学校を鮫川村で過ごし、三人の仲間とともに東京、浅草の革製品の会社へ入社し、製造部へ配属されました。毎日朝7時から夜7時まで懸命に働き技術を身につけ7年間修

業して23歳の時に独立開業しました。毎日の注文に追われてとても忙しく、まさに無我夢中で頑張りました。当時日本橋の老舗有名デパートでの製作実演の話があり、お客様の目の前で製品作りを披露し大変反響がありました。引き続き大阪でも行い、この仕事でやっていく自信を持った良い経験になりました。26歳で結婚し、二人の子供に恵まれ2人の社員と6人での生活は東京では手狭となり、一大決心で昭和51年に妻の実家がある塙町に住まいと工房を建てそこからさらにがむしやりに働きました。

そのかいあって20年も前の話ではありますが、念願だった海外旅行に行くことができました。イタリアで見た「最後の晚餐」やフレンチエでの街歩き、ベルンで有名な「からくり時計」を見学して、マッターホルンの登山電車に乗ってトレッキングし、日本とはどこか違うヨーロッパの山の景色を堪能し一生の思

い出になりました。今では自然に囲まれて近くの山歩きを楽しんでいます。庭にはブルーベリーやナツハゼ、柿、桃などを植えて毎年実をつけるのを楽しみに過ごす日々です。

鮫川村には素晴らしい「お宝」があります。20年ほど前にほととはうすに泊まった時にみた一面に乱舞するホタルの幻想的な光景は忘れることができません。

今でも見る事ができるのでしようか。ぜひ皆で探しに行きましょう。



### 編集後記

早いもので、編集後記も委員一回りし、9回の発行となり、任期も2年を切りました。私ども議会活動は広報紙を通じて、皆様に充分なるご理解、満足が得られているのか不安であります。納得していただけるよう編集委員一丸となり、議会広報紙の充実に努めてまいり所存であります。皆様の一層のご愛読とご意見、感想をお寄せいただければ幸いです。

(広報編集委員)

